【TechGym】ゼロからはじめる Python 入門講座(テックジムオープン講座)

サンプルソースの公開場所:https://github.com/techgymjp/techgym_python プログラム実行環境:https://colab.research.google.com/

■ 1 – 1:パーがないじゃんけんを普通のじゃんけんに:y5YT.py を使用

問題:パーが出せるじゃんけんを作りましょう。

<ヒント>

- ・入力した「自分の手」は my_hand に 0 or 1 or 2 で入っています
- ・「相手の手」はランダムで you_hand に 0 or 1 or 2 で入っています
- ·0=グー、1=チョキ、2=パー
- 1 2: ソースコードをシンプルに: v7Pi.py を使用

問題:勝ち、負け、あいこの結果判定に my_hand の if or elif が3個、 you_hand の if or elif が9個あります 工夫をして if or elif or else を3個 or 4個にしましょう。

<ヒント>

- ・my_hand と you_hand の差に規則性を見つけましょう
- 1-3: 関数化をする: a5Qm.py を使用

問題:下記の関数を作って以前と同じように動くようにしましょう。

<作る関数は以下の通り>

· start_message()

引数:なし 戻り値:なし

内容:スタートのメッセージを表示

・get_my_hand() 引数:なし

戻り値:入力された値

内容:入力を促すメッセージの表示と入力

・get_you_hand() 引数:なし

戻り値:相手の手の値

内容:相手の手をランダムで取得

・view_result() 引数:hand_diff 戻り値:なし

内容: hand_diff を判断して勝ち or 負け or あいこを表示する

■ 1 – 4: あなたの手と相手の手を表示する: qP6s.py を使用

問題:あなたの手と相手の手のグー、チョキ、パーをそれぞれ表示しましょう。

じゃんけんスタート あなたの手を入力してください 0:グー, 1:チョキ, 2:パー1 **あなたの手は チョキ 相手の手は パー** 勝ち

<作る関数は以下の通り>

get_hand_name()

引数:hand_number

戻り値: グー or チョキ or パー

内容: 引数の 0 or 1 or 2 に対応したグー or チョキ or パーを返す

view_hand()

引数:my_hand, you_hand

戻り値:なし

内容:引数2つを使って「自分の手はグー」「相手の手はパー」のように表示する

<ヒント>

・hands という変数にグー、チョキ、パーのリストを入れる

・hands[0]はグー

■ 1-5: inputメッセージにリストを使う: dV9E.py

問題:前問で作った

hands = ['グー', 'チョキ', 'パー'] を利用して

input('0:グー, 1:チョキ, 2:パー') このメッセージを自動生成しましょう

■ 1-6: 結果表示に辞書を使う: L2rT.py

問題:結果表示に

results = {'win':'勝ち', 'lose':'負け', 'draw':'あいこ'} の辞書を使いましょう。

<作る関数は以下の通り>

 \Box get_result()

引数:hand diff

戻り値: win or lose or draw

内容:引数の hand_diff に対応した win or lose or draw を返す

■ 1 - 7: [宿題]あいこの場合何度でも繰り返す: Jv5e.py

問題:あいこの場合、今までの「あいこ」を表示したあと、入力(get_my_hand())からやり直すようにしてください。勝ちor負けになるまで何度も「入力→結果表示」を繰り返しましょう。

<ヒント>

- □このために上で辞書を使いました
- □じゃんけんのメイン部分をplay()という関数にしましょう
- □play()を実行後、get_result が draw だったら再度 play()を再帰的に実行します

【テックジム東京本校】平日夜(19:00-22:00)土曜(13:00-19:00)開催。 月額2万円で受け放題。トレーナーは現役10年以上のエンジニア/学生・シニアは割引制度あり/会員の同伴参加は無料/ピザナイトを月1で開催(無料)/キャリア相談などの会員特典があります。

- ・体験入会は、無料で、授業期間ならいつでも OK。
- ・お申し込みは「テックジム東京本校」のページ(http://techgym.jp/?p=22)で。

【フランチャイズ校を募集しております】現在全国30校。お気軽にご相談ください。



プログラミングを学ぶ時間がない人も、挫折したことがある人も、 楽しく、早く、そして確実に、明日から使える究極のプログラミング習得術。